

2021（令和3）年度〈新・珍発見報告〉昆虫のまとめ

いつもたくさんの報告をありがとうございます。結果は身近な足利市の昆虫を知る大切な資料となります。拝見するのを毎年楽しみにしております。

〈絶滅危惧種〉

以下のような絶滅危惧種の報告がありました。かっこはメッシュ番号です。

- ・ウマノオバチ（22-60）（国：準絶滅危惧、栃木県：準絶滅危惧）
- ・オオムラサキ（18-54、19-61）（国：準絶滅危惧、栃木県：要注目）
- ・サラサヤンマ（19-61）（栃木県：準絶滅危惧）
- ・ヒラタクワガタ（乱獲防止のため非公開）（栃木県：準絶滅危惧）
- ・カワラバッタ（21-69）（栃木県：要注目）
- ・ゲンジボタル（12-58）（栃木県：要注目）
- ・ジャコウアゲハ（13-58、16-62、17-66、18-67、19-61、21-56、21-61、22-60）（栃木県：要注目）
- ・チョウトンボ（19-61）（栃木県：要注目）
- ・マツムシ（21-65）（栃木県：要注目）



◀カワラバッタ（栃木県：要注目）



チョウトンボ（栃木県：要注目）▶



◀クロコノマチョウ（北上昆虫）

※写真は3点とも大川検討委員提供

※ヒラタクワガタとジャコウアゲハは
画像鑑定依頼のページ参照

《外来種や地球温暖化に伴う北上昆虫》

- 【外来種】 ・アカボシゴマダラ ・クビアカツヤカミキリ
【北上】 ・アオドウガネ ・ツマグロヒョウモン
・ナガサキアゲハ ・クマゼミ
・ユミアシオオゴミムシダマシ ・クロコノマチョウ

※アカボシゴマダラ・ユミアシオオゴミムシダマシは画像鑑定依頼のページ参照。

※キマダラカメムシ（外来種）・タイワンウチワヤンマ（北上）・タイワンクマバチ（外来種）という報告がありました。これらは栃木県では記録がなく、新しい発見となります。捕殺した現物・画像等があれば貴重で確かな記録となります。キマダラカメムシは群馬県でも発見されていますので足利市には間違いなくいると思います。

※カバマダラという報告がありましたが、恐らくツマグロヒョウモンのメスのようです。カバマダラは体の中に毒を持っており、捕食する天敵が嫌がります。そのカバマダラに姿を似せること（擬態）で身を守っていると言われていました。

※クマゼミは1km程度の移動能力しかないようです。したがっていまのところ足利市で確認できるものは植樹などの人為的な移動によるものと考えられます。温暖化によりいずれは足利市でも確実に毎年見られるようになるかもしれません。何年後になるのかはわかりませんが、今後の動向を注意して見守りたいと思います。

なお、クマゼミと温暖化について記した名著がありますので、僭越ながら紹介させていただきます。興味がある方は是非ご覧になっていただければ幸いです。

*沼田英治著「クマゼミから温暖化を考える」岩波ジュニア新書

《その他》

レポーターのなかには詳しく名前を調べてくださった方がいました。例えば次のような名前の虫です。

- ・アオヒゲナガトビケラ
- ・アシプトチズモンアオシャク
- ・ウスキツバメエダシャク
- ・ウメエダシャク
- ・ウンモンズズメ
- ・エントツドロバチ
- ・キバラモクメキリガ
- ・キマエホソバ
- ・クルミマルハバチ
- ・クロクモエダシャク
- ・スムシ（ハチノスツツリガ または ウスグロツツリガの幼虫）
- ・ツマグロキンバエ
- ・トビモンオオエダシャク
- ・ババシロアシマルハバチ
- ・フタホシヒラタアブ
- ・ベニシタヒトリ

などです。名前調べにたいへんなお時間と労力を要したと思われます。おかげさまで貴重な資料となりました。画像による鑑定依頼もたくさんありました。興味深い虫をたくさん寄せてくださいました。こちらも足利市の虫を知る貴重な資料となります。